

12月の歴史カレンダー

★12月に何が起ったか

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
水俣市奇病対策委員会、52人(うち死亡17人)を水俣病と決定。 (1956/S31)	水俣市立病院に水俣病専用仮病棟完成、患者11人収容 (1958/S33)		チッソ水俣病患者連盟の川本輝夫委員長ら、チッソ百間排水口そばに石仏を安置 (1994/H6)	北川環境庁長官、水俣を訪問、明水園などを視察 (1990/H2)	鹿児島県出水市・東町・長島町の3漁協、チッソと漁業補償妥結(補償総額7億2,960万円) (1973/S48)	
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	潮谷熊本県知事が水俣・芦北の胎児性患者宅4軒を謝罪訪問 (2004/H16)		環境省の滝澤環境保健部長らが初めて関西訴訟原告宅を謝罪訪問(大阪市) (2004/H16)	水俣湾明神地区の埋め立て開始 1985/S63)	県衛生部、水俣市長及び水俣保健所長に対し、水俣港改修にともなう同港の一部しゅんせつにともない、「湾内魚介類の摂食の自粛について」地元漁協等関係者へ協力に指導するよう指示。 (1957/S32)	
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
水俣病公式第1号患者(水俣市出月・5歳11ヶ月)発病(56年に判明) (1953/S28)	市議会各派代表・経済3団体・水俣病患者・労働団体・政党など27団体が参加し、「水俣病対策、水俣・芦北地域振興並びにチッソ水俣工場存続強化についての市民運動の会結成」 (1977/S52)	公害の影響による疾病の指定に関する検討委全体会議(厚生省)で特異な発生経過、国内外で通用していることから病名を「水俣病」の名称が適当であるとの見解に至る。 (1969/S44)			厚生省、水俣市及び葦北郡田浦町、芦北町、津奈木町、並びに鹿児島県出水市を「公害地域」に指定。 (1969/S44)	
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
熊本県議会、決議を付して、チッソ県債継続発行をやむを得ないものとする (1987/S62)	天皇誕生日		◆チッソ工場に水浄化装置(サイクリーター)完成。 (1959/S35) ◆2次訴訟派、チッソと補償協定に調印 (1973/S48) ◆水俣市民運動の会総決起化大会開催(1,200人余参加) (1977/S52) ◆水俣湾ヘドロ埋め立て工事終わる。 (1987/S62)	一部住民ら水俣湾等ヘドロしゅんせつ工事差止仮処分申請書を熊本地裁に提出。 (1977/S52)	熊本県、鹿児島県、公害被害者認定審査会発足。 (1969/S44)	
29日	30日	31日				
	◆水俣市、奇病世帯に更生資金貸出。(14世帯 64万円) (1957/S32) ◆患者家庭互助会と新日窒、調停案を受諾「見舞金契約」調印。 (1959/S35)					